

東北地方 1 か月予報

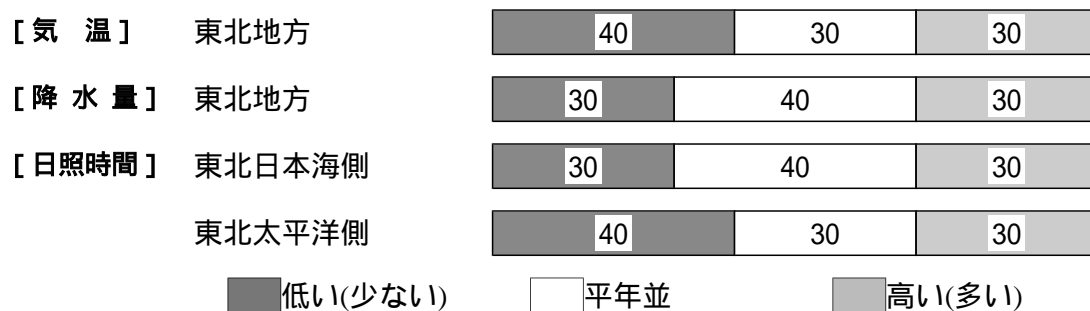
(7 月 2 8 日から 8 月 2 7 日までの天候見通し)

平成 1 9 年 7 月 2 7 日
仙台管区气象台発表

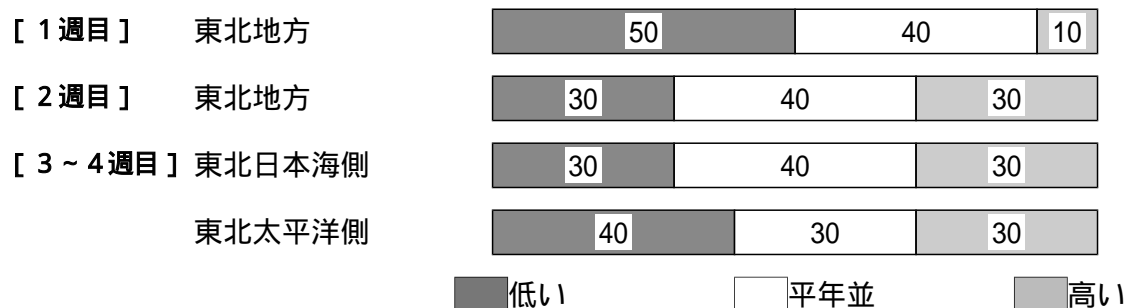
< 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。
週別の気温は、1 週目は低い確率が 5 0 % です。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 7 月 2 8 日 (土) ~ 8 月 2 7 日 (月)
1 週目 : 7 月 2 8 日 (土) ~ 8 月 3 日 (金)
2 週目 : 8 月 4 日 (土) ~ 8 月 1 0 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 8 月 1 1 日 (土) ~ 8 月 2 4 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 8 月 3 日
3 か月予報 : 8 月 2 3 日 (木) 1 4 時

< 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	23.2	124.7	193.3	23.5	23.6	23.0
深浦	23.2	153.6	188.5	23.5	23.5	23.2
むつ	21.8	127.4	157.0	22.0	22.1	21.6
八戸	22.5	129.4	178.3	22.8	22.8	22.3
秋田	24.7	170.6	202.2	24.9	24.9	24.6
盛岡	23.4	164.9	162.4	23.8	23.7	23.2
大船渡	23.1	168.8	165.9	23.2	23.4	23.0
宮古	22.3	158.6	169.5	22.4	22.5	22.3
仙台	24.2	155.7	158.2	24.4	24.4	24.1
石巻	23.5	112.2	180.5	23.5	23.7	23.5
山形	24.8	137.1	188.0	25.4	25.2	24.6
新庄	24.1	161.9	182.4	24.4	24.4	24.0
酒田	25.1	164.3	216.1	25.4	25.3	25.0
福島	25.4	133.1	162.6	25.8	25.7	25.2
若松	24.9	127.4	203.3	25.4	25.2	24.8
白河	23.4	204.5	157.2	23.8	23.7	23.3
小名浜	23.9	120.9	196.5	23.5	23.8	24.1

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ～ +0.6	74 ～ 121	89 ～ 110
東北日本海側	-0.5 ～ +0.5	78 ～ 112	91 ～ 113
東北太平洋側	-0.4 ～ +0.6	67 ～ 126	87 ～ 112

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6 ～ +1.2	-0.8 ～ +1.1	-0.5 ～ +0.8
東北日本海側	-0.7 ～ +1.1	-0.9 ～ +1.0	-0.5 ～ +0.8
東北太平洋側	-0.5 ～ +1.3	-0.7 ～ +1.2	-0.5 ～ +0.8

< 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 3 3 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 3 0 % 、 4 0 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 19 年 7 月 27 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (7 月 28 日～8 月 27 日) :

東北日本海側は、高気圧におおわれ、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側は湿った東風の影響で平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

なお、期間のはじめは気温が低いので、農作物の管理に注意してください。

1 週目 (7 月 28 日～8 月 3 日) :

期間のはじめは、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨ですが、その後は高気圧におおわれておおむね晴れるでしょう。

平均気温は低い確率が50%です。

2 週目 (8 月 4 日～8 月 10 日) :

東北地方は、高気圧におおわれ、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4 週目 (8 月 11 日～8 月 24 日) :

東北日本海側は、高気圧におおわれ、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側は湿った東風の影響で平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。

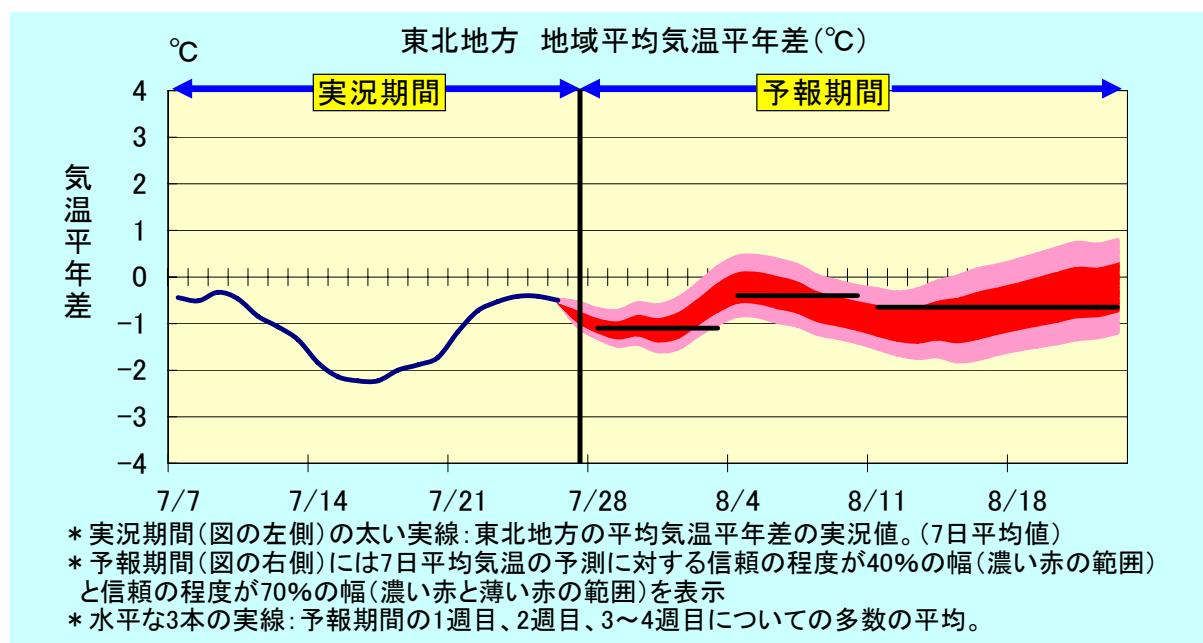
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	16.5 日	4.0 日	4.3 日	8.2 日
東北太平洋側	14.7 日	3.7 日	4.0 日	7.0 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目と 3～4 週目は平年を下回り、2 週目はおおむね平年並の予想となっている。

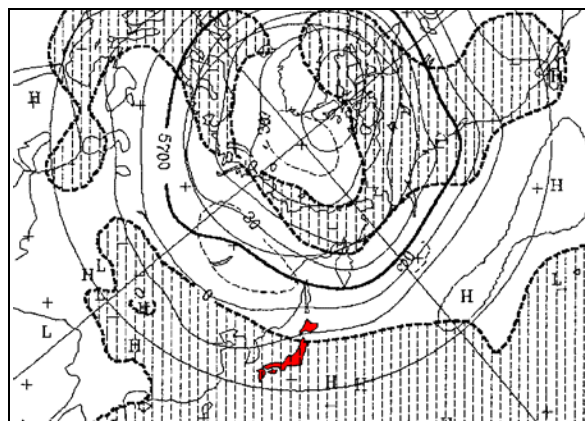


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想（500hPa 予想天気図）

1か月平均：日本の本州以南は東西に負偏差が広がる。北海道から北はバイカル湖付近に中心を持つ正偏差域となり、東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多い見込みだが、東北太平洋側では湿った東風の影響をうける日もある見込み。

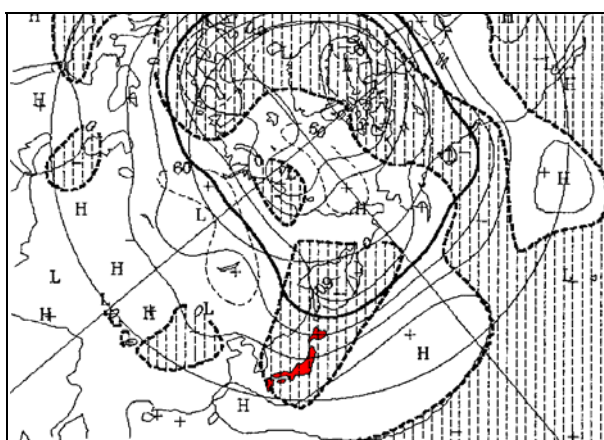
1週目：太平洋高気圧が西へ張り出すが、北への張り出しは弱く、日本付近は負偏差域となり、東北地方は梅雨前線の影響を受ける時期がある見込み。

2週目：西日本以南は負偏差域となるが、沿海州付近で等高線が北に盛り上がり、東日本以北は高気圧におおわれる。このため東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込み。

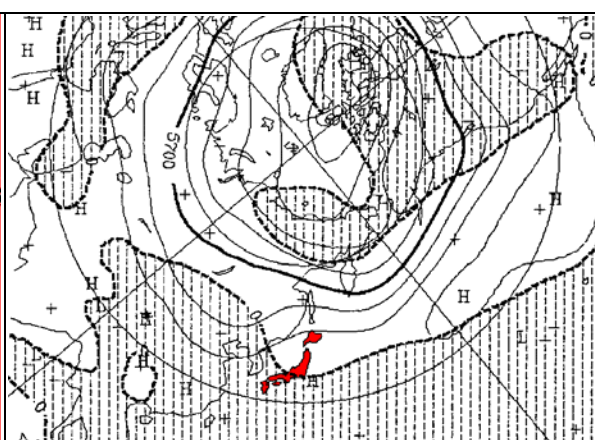


1か月平均 500hPa 予想天気図

（図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎）



1週目平均 500hPa 予想天気図



2週目平均 500hPa 予想天気図

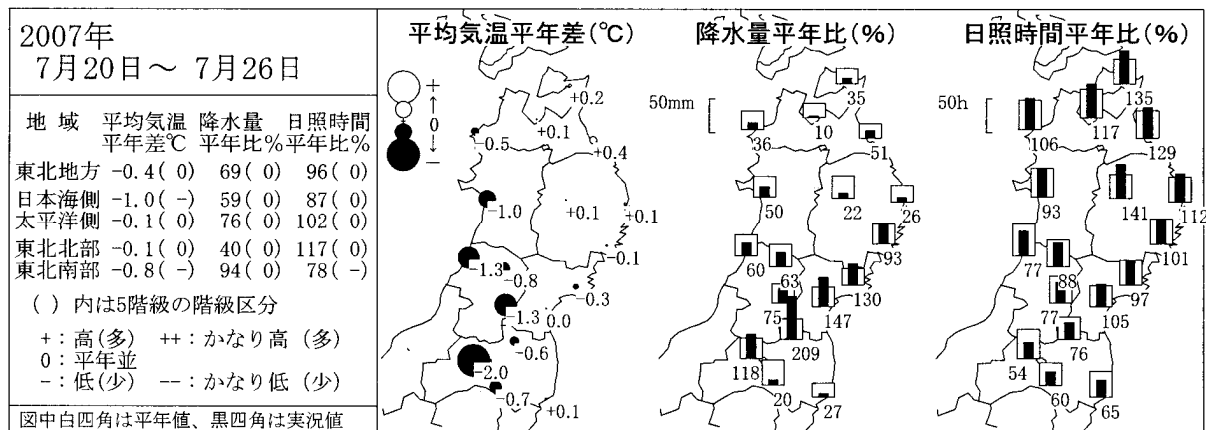
実線は、等高線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（7月20日～7月26日）の天候の経過

この期間、梅雨前線の影響で東北南部を中心に曇りや雨の日が多かったが、梅雨前線が南より位置したため、東北北部は梅雨前線の影響を受けにくかった。24日から25日は移動性高気圧の影響で晴れたところが多かった。

平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側で平年並。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北北部で平年並、東南北部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

5. 平成 19 年の梅雨入りと梅雨明け（速報値）

■ 平成 19 年の梅雨入り					
地方	平成 19 年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	5 月 16 日ごろ	8 日遅い	2 日遅い	5 月 8 日ごろ	5 月 14 日ごろ
奄美	5 月 26 日ごろ	16 日遅い	15 日遅い	5 月 10 日ごろ	5 月 11 日ごろ
九州南部	6 月 1 日ごろ	3 日遅い	6 日遅い	5 月 29 日ごろ	5 月 26 日ごろ
九州北部	6 月 13 日ごろ	8 日遅い	5 日遅い	6 月 5 日ごろ	6 月 8 日ごろ
四国	6 月 13 日ごろ	9 日遅い	5 日遅い	6 月 4 日ごろ	6 月 8 日ごろ
中国	6 月 14 日ごろ	8 日遅い	6 日遅い	6 月 6 日ごろ	6 月 8 日ごろ
近畿	6 月 14 日ごろ	8 日遅い	6 日遅い	6 月 6 日ごろ	6 月 8 日ごろ
東海	6 月 14 日ごろ	6 日遅い	6 日遅い	6 月 8 日ごろ	6 月 8 日ごろ
関東甲信	6 月 14 日ごろ	6 日遅い	5 日遅い	6 月 8 日ごろ	6 月 9 日ごろ
北陸	6 月 21 日ごろ	11 日遅い	6 日遅い	6 月 10 日ごろ	6 月 15 日ごろ
東北南部	6 月 21 日ごろ	11 日遅い	12 日遅い	6 月 10 日ごろ	6 月 9 日ごろ
東北北部	6 月 21 日ごろ	9 日遅い	6 日遅い	6 月 12 日ごろ	6 月 15 日ごろ

■ 平成 19 年の梅雨明け					
地方	平成 19 年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	6 月 21 日ごろ	2 日早い	1 日遅い	6 月 23 日ごろ	6 月 20 日ごろ
奄美	6 月 28 日ごろ	同じ	6 日遅い	6 月 28 日ごろ	6 月 22 日ごろ
九州南部	7 月 18 日ごろ	5 日遅い	7 日早い	7 月 13 日ごろ	7 月 25 日ごろ
九州北部	7 月 23 日ごろ	5 日遅い	3 日早い	7 月 18 日ごろ	7 月 26 日ごろ
四国	7 月 23 日ごろ	6 日遅い	3 日早い	7 月 17 日ごろ	7 月 26 日ごろ
中国	7 月 23 日ごろ	3 日遅い	3 日早い	7 月 20 日ごろ	7 月 26 日ごろ
近畿	7 月 24 日ごろ	5 日遅い	3 日早い	7 月 19 日ごろ	7 月 27 日ごろ
東海	7 月 27 日ごろ	7 日遅い	1 日遅い	7 月 20 日ごろ	7 月 26 日ごろ
関東甲信	——	——	——	7 月 20 日ごろ	7 月 30 日ごろ
北陸	——	——	——	7 月 22 日ごろ	7 月 30 日ごろ
東北南部	——	——	——	7 月 23 日ごろ	8 月 2 日ごろ
東北北部	——	——	——	7 月 27 日ごろ	8 月 2 日ごろ

注)

・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。ここに掲載した期日は移り変わりの期間の概ね中日を示しています。

・「平年」は、平成 12 年(2000 年)までの過去 30 年の平均(入り・明けを特定しなかった年は除外)の日付です。